

第 10 回日野市生物多様性地域戦略策定委員会 議事録

日時：平成 30 年 1 月 16 日（火）18：00～20：00

場所：日野市役所 505 会議室

出席委員： 亀山委員	東京農工大学名誉教授 ※委員長
小倉委員	東京農工大学名誉教授
鶴田委員	
濱田委員	
井上委員	
森川委員	
片山委員	
篠田委員	東京農工大学
中西委員	樹木・環境ネットワーク協会
檜山委員	緑と清流課
白石委員	環境保全課
高荒委員	環境保全課
藤田委員	環境保全課
山本委員	都市計画課
小島委員	健康課
清水委員	学校課
大日向委員	生涯学習課

※敬称略

次第

1. 開会・あいさつ
2. 報告
 - ・ パブリックコメントの内容と対応方針
3. 議事
 - (1) 前回議事への対応
 - (2) ひの生きものプラン（素案）の確認
 - (3) シンポジウムの内容について
4. その他

配付資料

- 資料 1：前回議事への対応
- 資料 2：ひの生きものプラン（案）
- 資料 3：ひの生きものプラン 資料編 生物多様性基礎調査
- 資料 4：シンポジウムの内容について
- 参考資料 1：パブリックコメントの内容と対応方針
- 参考資料 2：第 9 回日野市生物多様性地域戦略策定委員会 議事録
- 参考資料 3：第 9 回市民参画部会 要点録
- 参考資料 4：生物多様性地域戦略策定市民部会活動について
- 参考資料 5：「ひの生きものプラン」プロジェクトチームの設置について

パブリックコメントの内容と対応方針

※事務局より参考資料1に基づき説明。

【亀山委員長】

今回のパブリックコメントの意見を受けて修正した箇所はあるか。

【事務局】

資料2のP81の行動計画「5-4-2 農地・樹林地の保全活用」を変更した。また、パブリックコメント前に資料2の5.1.2の表とP90の5.1.3の図で進行管理を「環境審議会」としていたが、「日野市環境基本計画（地球温暖化分科会等）」に変更した。環境審議会の位置づけも5.1.3の図のとおり変更した。

【井上委員】

日野市環境基本計画の中にはみどり分科会や水分科会があるが、分科会での活動はP90の5.1.3の図の「市民・市民活動団体」に含まれるのか。

【事務局】

図中の「日野市環境基本計画（地球温暖化分科会等）」の中に含まれると考えられる。日野市環境基本計画の分科会は生きものプランではなく、環境基本計画の中で進捗管理もしている。

【井上委員】

みどり分科会や水分科会のメンバーから、カワセミハウスで独自に本委員会と同様な活動を始めたいので、本委員の人も一緒に活動しないかという話があり、位置づけについて確認した。

前回議事への対応

※事務局より資料1および参考資料2に基づき説明。

【森川委員】

「取組の体系、行動計画について」に「・資料2のP57について、「各主体の役割」の「市のシンボルとなる魚～」とあるが、該当の記述がない。

【事務局】

P78の間違いである。

ひの生きものプラン（素案）の確認

※事務局より資料2および3に基づき説明。

【事務局（小笠）】

資料2のP53の図中の今回修正した部分について、目標8の「日野市に生息・生育する外来種や農業などに被害を及ぼす～」とあるが、「日野市に生息・生育する在来種」ではないのか。

【事務局】

これまでは「有害鳥獣」としていた部分を「農業などに被害を及ぼす野生動物」に変更している。

【亀山委員長】

「日野市に生息・生育する外来種や、農業などに～」とすればよい。

【井上委員】

資料2のP11図2-6の図中について、日野台地の中に低地が2か所あるが、実際はどこの場所か。

【事務局】

地図の出典は国土交通省の20万分の1土地分類基本調査で、若干荒い地図であり、精密な情報ではないところもある。

【森川委員】

資料3のP3の「1.1.6 昆虫類・クモ類」について、これは文献調査で確認した種の中で代表的なものを掲載してあるということか。

【事務局】

そのとおりである。

【森川委員】

文章中には、日野市では既に絶滅している種があるが、そのことについての記載はあるのか。

【事務局】

記載はない。

スズキコモリグモは文献等から確認できたため記載しているが、絶滅したことを確認する作業はしていない。

【森川委員】

昆虫の中でも、ミヤマシジミなど日野市ではもう見られなくなった種がいると思う。基礎調査の中にそのような種が見つからなければ、そのことを明記してよいと思う。

【亀山委員長】

この部分は文献調査の章であるので、文献に書いていること以上のことは書けない。

【森川委員】

例えば、ミヤマシジミなどは他の文献に明記してあると思う。

【亀山委員長】

それを拾い出すのは大変な作業である。

【森川委員】

そうであるならば、あえてスズキコモリグモを記載しない方がよい。

【亀山委員長】

そのように修正する。

【井上委員】

資料3のP3の「1.1.7 魚類」について、特定外来生物に養殖ゴイは入らないのか。

【事務局】

養殖ゴイは特定外来生物ではない。

【森川委員】

資料3のP28以降の確認種一覧は、実際に調査をした中で確認した種の一覧で、文献調査の確認種ではないということか。

【事務局】

資料3のP27の表3-1は、文献調査の各文献がどの分類群を参照したかを一覧にしている。表の一番左の列に文献番号とあり、この1~20が実際に参照した文献である。一番下の行に「現地」とあり、これは現地調査である。P28以降の一覧については、右側の列に文献番号と現地があり、それぞれの確認種を掲載している。

【亀山委員長】

現状ではこの数字が何か分からないので、番号の上に「文献番号」と入れるように。

【井上委員】

資料3のP20の「ノウサギ（糞）」とP21の「アカネズミ（糞）」写真は糞はなく食痕ではないか。

【事務局】

アカネズミについては、食痕の間違いである。

【亀山委員長】

ノウサギの写真は何が映っているが分からないので変更するように。

【事務局（小笠）】

資料3のP25の植物の写真に「潤徳小学校ビオトープ」の写真があるのはおかしい。

【亀山委員長】

別の写真に変更すること。

【中西委員】

資料3のP27の文中について、「文官番号」とあるが、「文献番号」ではないか。

【事務局】

そのとおりである。修正する。

【森川委員】

文献調査で、掲載されていない文献があるが、追加はできるのか。

【亀山委員長】

これが最終版であるので、追加できない。

新たに大幅に種を加えられる文献があれば検討する必要があるが、これまでの委員会で検討を重ねている。

【片山委員】

資料3のP28以降の確認種一覧の中に、学名が斜体になっていない部分がある。

【事務局】

間違いであるので修正する。

【亀山委員長】

森川委員より意見のあったように、数多く種が掲載されている文献で漏れているものがあるが、例えば、資料 3 の P27 の表 3-1 の後に、「ここには掲載していないが、〇〇といった文献があり、〇〇の分類群について詳しく記載されている」と追加する方法もある。

【森川委員】

文献については後日でメールする。

【中西委員】

資料 3 の P27 の表 3-1 について、文献番号 20 は発行年が「複数年」となっている。幅を持たせて記載することはできないか。おおよその年代が分かった方がよい。

【事務局】

そのように修正する。

【中西委員】

現地調査についても、「発行年」ではないが、実施した年を記載した方がよい。

【亀山委員長】

記載するように。

【片山委員】

資料 3 の P27 の文献番号 19 は、どのデータを参照したのか。

【事務局】

調査地点が日野市内のものに限って調査した。

【亀山委員長】

文献番号 19 についても調査年度を入れるように。

【事務局】

表の下に注釈があり、いずれも最新年のデータを使っている。「※」が表の中に抜けているので、修正する。

【亀山委員長】

資料 3 の P27 の表 3-1 は、次ページ以降の一覧を見る時に使うものであるため、著者名を記載した方がよい。

【事務局】

作成者を追加する。

【亀山委員長】

その他に、気づいたことがあれば 1 週間以内に事務局へ連絡してほしい。

【森川委員】

資料 3 の P19～26 について、生きものの写真で特に昆虫が小さいので、トリミングして昆虫が大きくなるようにしてほしい。

【亀山委員長】

そのように修正するように。

シンポジウムの内容について

※事務局より資料4および参考資料3に基づき説明。

【亀山委員長】

エクスカージョンも含めての一連のイベントになるのか。その場合は、イベント全体の呼び方はどうなるのか。チラシ作成の際には、どのようなものにするのか。

【事務局】

現段階では、そこまで詰めきれていないので、その部分も含めて意見をいただきたい。

【森川委員】

エクスカージョンに、「黒川清流公園で自然観察」とあるが、単に自然観察とすると植物、鳥、昆虫などと幅広くなってしまう。植物の冬芽、鳥など、テーマを絞った方が分かりやすい。

【中西委員】

自分が午前中に自然観察をすることを提案したが、当初は昼からのシンポジウム後に設定されていた。シンポジウム後にすると夕方の時間帯になる。さらに、自然観察を含めて3時間だったので、それならば基調講演などを充実した方がよいと考えた。そのため、朝の気持ちのよい時間帯に、会場に近い黒川清流公園でやってはどうかと提案した。この時期であれば、花が咲いている。鳥と昆虫もいるので、生物多様性がテーマであれば、「なんでも観察会」にしてもよいと思う。

【亀山委員長】

「早春の生きものを見つけよう」とするのはどうか。

【中西委員】

加えて、その場所の特徴と、湧水がある環境だからこそ見られる生きものなど、生きものだけでなく場所との関連が分かる説明をするのがよい。

【森川委員】

それはベストだが、話がバラバラになるのではないか。

【亀山委員長】

班分けをする方法もある。1組10～20人程度。

今の意見をふまえ、事務局で検討してほしい。

【亀山委員長】

井上委員に、大きなスクリーンで「生きもののびっくり映像」を上映してもらってはどうか。

【井上委員】

多摩川、谷地川、日野の生きもの、生きものの繋がりなどの番組がある。エクスカージョンで自然観察に行く人と、映像を見る人ということであれば用意する。

映像を見た後に、その生きものがどこにいるのかという話や、感想を述べあってもよい。質疑応答を含めて30分以上時間をかけることはできると思う。

【亀山委員長】

今はアオダイショウも見たことがない人が多い。こんな生きものがいるということを知るだけでもよい体験になる。

【井上委員】

事前に打合せをして、何を見るか、時間はどうするかを検討できれば対応できる。

【亀山委員長】

室内で見られるものも用意しておくように。

【中西委員】

開会までの昼の時間、準備の時間、休憩もある。この時間も映像を流し続けてよいのではないか。

【井上委員】

映像はその時点の最高性能のカメラで映像を撮影しているので、自分は迫力のある大きなスクリーンで感じるように見てもらいたい。その代わりに、A4 サイズで生きものの写真が 300～400 枚あるので、それを飾るのがよいと思う。水の中から空の上までの、様々な生きものの写真があるので、日野には生きものがこんなにいるのかとみなさん驚くと思う。多摩川流域シンポジウムで展示した時は、多くの来場者が驚いていた。

【中西委員】

作者のこだわりがあると思うので、詳細は事務所と話し合っしてほしいが、せっかく重要な資源なので見ていただくのがよいと思う。

【森川委員】

会場は、カワセミハウスの部屋が 3 つ開放されるのか。

【事務局】

そうである。

【井上委員】

レールがあるので、写真の飾りつけは可能である。

【森川委員】

日野の自然を守る会のメンバーも写真を持っているので、提供可能であると思われる。

【中西委員】

一番重要なのは人集めだと思う。広報をどうするかをしっかりと検討する必要がある。早くチラシを作って、周知する必要がある。

【森川委員】

広報ひのには、いつ掲載されるのか。遅くとも 3/1 号に載せる必要があるが、1 か月前には原稿を持ち込む必要がある。

【中西委員】

各委員が知り合いに周知するくらいでないと、多くの人に周知できない。国分寺市では毎年 2 月に市民と市が共同で環境シンポジウムをやっているが、開催のかなり前から様々な人脈を使って周知して、それでやっと 100 人集まっている。

【森川委員】

カワセミハウスもいいが、初年度に使ったイオンモールは利用できないのか。そのような場所であれば、自然と人が集まるのではないか。自分の仲間は、日の出町のイオンモールでイベントをやっているが、イオンモールはお客さんがたくさん入ってくる。

【亀山委員長】

資料4のプログラム6は、市民部会の各班がやるということでよいか。

【事務局】

そのとおりである。

【亀山委員長】

資料4のプログラム5は、2団体紹介とあるが、具体的に想定している団体はあるのか。

【事務局】

この場でご意見をいただきたい。

【中西委員】

これも提案したのは自分である。想定した団体は、子供たちへの環境教育をやっているひのどんぐりクラブと、日野市内で長い歴史のある日野の自然を守る会である。

【亀山委員長】

他に意見がなければ、それでよい。

【井上委員】

どんぐりクラブは、学芸大学の環境研究施設でのシンポジウムで活動について発表した。少ない予算と人手で、年間7000~8000の授業支援をやっているということで、大学の先生方からも評価された。北海道教育大学、愛知教育大学、東京学芸大学、大阪教育大学が文科省の委託を受けたHATOプロジェクトというものがあり、その中でもどんぐりクラブが紹介もされている。どんぐりクラブを紹介してくれれば、多くの市民への参加の呼びかけにもなると思う。

【亀山委員長】

どんぐりクラブの発表には、子供が登場するのか。

【井上委員】

まだ、話をしていないので分からないが、可能であると思う。小学校高学年の子供に、授業で楽しかったことなどを話してもらうことはできるかもしれない。

【中西委員】

こういった団体は人手不足で困っているので、活動へのお誘いの場にもしてもらえたらよいと思う。

【井上委員】

どんぐりクラブは日野市内のほとんどの小学校に行っている。低学年の授業が多いが、低学年は新人の若い先生であることが多く、地域の教材を使った環境学習の授業ができないことが多い。そのため、総合学習や体験学習の部分は、どんぐりクラブに頼りきりの状態である。先生も求めているし、親も学校のために尽くしている団体を理解してくれると思うので、日野市

にとってもよいことだと思う。

【亀山委員長】

日野の自然を守る会はどうか。

【森川委員】

生物多様性の保全に取り組む団体の紹介、とするとどうかと思う。日野の自然を守る会は、毎月 2 回大木島自然公園の管理に取り組んでいるが、その他は観察会が主である。大木島自然公園で活動しているメンバーに話をすれば、活動内容の紹介ができるかもしれないが、何とも言えない。役員へ話をしてもらいたい。

【片山委員】

自分は両方の会に入っているので、このような場で団体の PR ができるとよいと思う。どんぐりクラブも、保全というよりは環境教育の分野であるが、保全というテーマに縛られなくても、生物多様性の問題に取り組んでいる市民活動団体というふうに、大きく捉えてよいと思う。

【亀山委員長】

保全という言葉は狭い意味で考えなくてもよい。日野の自然を守る会の観察会も、広い意味で保全に繋がっている。委員会ではこの 2 団体を推薦する。できるだけ多くの人に周知した方がよいので、広報ひのに掲載してほしい。チラシも数多くの場所に置いてほしい。

【事務局】

公共施設なども使って周知したいので、詳細を早く決定をする必要がある。

【小倉委員】

昨年の 5 月にカワセミハウスのオープンを兼ねて、水と緑の日野・市民ネットワークでシンポジウムを開催した。その時の基調講演で矢島先生に来ていただいたところ、3 部屋ぶち抜きでも立ち見が出た。矢島先生の基調講演をアピールすると人が集まるのではないかと思う。

【森川委員】

日野の自然を守る会の幹事会が毎月月初にあるので、今月中に連絡をしてほしい。広報ひのにはいつ載るのか。

【事務局】

この場で明言はできないが、3/1 号に掲載される可能性が高い。

【亀山委員長】

チラシはもっと早く作成する必要がある。日野の自然を守る会は、参加を理事会で決める必要があるのか。

【森川委員】

毎月の幹事会で決定する。

【片山委員】

幹事向けのメーリングリストに流せばよい。

【亀山委員長】

早急をお願いしたい。

【井上委員】

どんぐりクラブも全員にメール送信できるので、環境保全課から代表に依頼をしてもらえ

ばよい。

【亀山委員長】

チラシができれば委員に配布し、配っていただくこととする。

その他

※事務局より参考資料4および参考資料5に基づき説明。

【森川委員】

参考資料4のバタフライガーデン先進事例の視察について、視察地について調べたが、大田区のブルトライアングルプロジェクトは昨年からはまったプロジェクトである。大田区よりも江戸川区の方がよいのではないかと。

【事務局】

江戸川区は緑道のごく一部でやっているようである。大田区はマニュアルがあり、小学校で取り組んでいたりと、私たちのやろうとしていることにリンクしている。

【亀山委員長】

最近、アオスジアゲハがそこら中にいるのは、クスノキを植樹しているからである。日本の巨樹ベスト10のうち、9本がクスノキである。成長がよいからといってクスノキを植えると、後で多くの方が苦労するので、日野市には植えないでほしい。アオスジアゲハばかり増えるので、おすすめしない。

【森川委員】

パブリックコメントの中でも、バタフライガーデンについて「かつて生息した蝶を呼び戻すためのバタフライガーデンなら、良いですね。」という意見もある。そのようなバタフライガーデンを作るのがベストであると思う。

【亀山委員長】

クスノキは西日本の在来種で、東日本の在来種ではない。

【井上委員】

文献などの情報をもとに、みんなで検討すればよいのではないかと。

以上